

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	オルクス ノイマン	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
オプション		年齢	15歳	性別	女性
覚醒	命令	衝動	闘争	初期侵食率	31 %
出自	姉妹	経験	力の暴走	邂逅	殺意

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	0	0	1			1	行動値	7
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	7
精神	4	1	0			5	戦闘移動	12
社会	3	0	0			3	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: FH(UGN)	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手	白兵	1r		-5		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
防弾防刃ジャケット	6	3			

所持品		合計装甲:	3	合計回避:	0
コネ: FH幹部		ロイス			
コネ: 要人への貸し		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ マス
		小松原 茜	P 庇護	N 偏愛	
		緑川 彩 (熾天使) ホワイトジョーカー	P 尊敬	N 不安	
		神無月 彰 (黄昏の月) アルティメット・ゼロ	P 憧憬	N 恐怖	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		琥珀 水晶	P 慈愛	N 不安	
		最大財産P:	8	残り財産P:	0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト	2	2	メジャー					
効果:	組み合わせた判定のクリティカル値を-LVする(下限値7)							
要の陣形	2	3	メジャー					
効果:	エフェクトを組み合わせた行動の対象を3体に変更する。このエフェクトは1シナリオにLV回まで使用出来る							
ファンアウト	1	4	セットアップ	至近	範囲(選択)	自動		
効果:	対象は即座に戦闘移動を行う。このエフェクトはあなた自身を対象にできない。1シナリオLV回まで使用できる							
アニマルテイマー	2	3	メジャー					
効果:	組み合わせた判定に[LV+1]ダイスする。							
大地の加護	5	2	メジャー			対決		
効果:	組み合わせた攻撃の攻撃力を+「LV×2」する。							
大地の牙	1	1	メジャー	視界		対決		
効果:	「攻撃力:+[LV+2]」の射撃攻撃。この攻撃に対するドッジ判定を-1Dする。同じエンゲージにいる対象に使用できない。							
不可視の領域	1		メジャー	至近	効果参照	自動		
効果:	最大「LV×1000」平方メートルの場所を隠蔽できる。誰かが見つけようとした場合〈知覚〉による対決を行う							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「エンド・オブ・パニッシュメント・ダークネス」 侵蝕率80%以下 1+4+5+6 侵蝕値:8 タイミング:メジャー 技能:〈RC〉
 難易度:対決 対象:単体 射程:視界 ダイス:8+侵蝕率ボーナス C値:8
 攻撃力:13 範囲化:+要の陣形なら侵蝕値:11に変更、1シナリオ2回

「月夜の断罪《ムーンライト・デス・ジャッジメント》」 侵蝕率100%以上 1+4+5+6 侵蝕値:8 タイミング:メジャー 技能:〈RC〉
 難易度:対決 対象:単体 射程:視界 ダイス:9+侵蝕率ボーナス C値:7
 攻撃力:16 範囲化:+要の陣形なら侵蝕値:11に変更、1シナリオ3回

*侵蝕率によるボーナス
 0~59:エフェクトLV+0 判定のダイスに+0

60~79:エフェクトLV+0 判定ダイスに+1

80~99:エフェクトLV+0 判定ダイスに+2

100~129:エフェクトLV+1 判定ダイスに+3

130~159:エフェクトLV+1 判定ダイスに+4

誰かが泣いていた、それが妹の小松原茜だと小松原葵は正しく認識していた。
 異能力者の襲撃による両親の死。まだ幼い姉妹にとって大きくない出来事だと言うのは流石に嘘と言えよう。
 親戚たちが誰が引き取るかで揉めている声も、葵の耳には届かなかった。